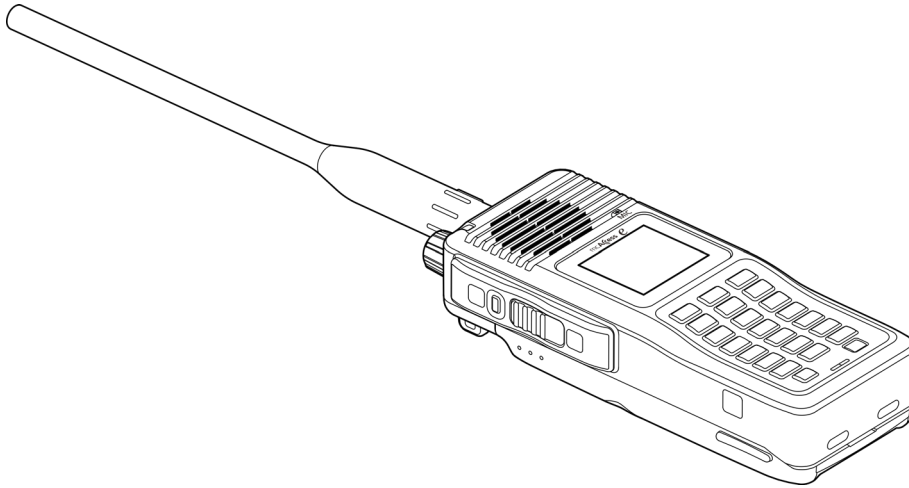


mcAccess e

取扱説明書

EK-6180A 形 MCA 携帯機

品番 **EK-6180A**



保証書付き

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（5～8 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 操作の詳細は「操作ガイド」を参照してください。

はじめに

■ 商標について

- **Bluetooth®**のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他の商標およびトレードネームはそれぞれの所有者に帰属します。

■ お知らせ

- 本書に記載された画面について、実際のものとは一部異なる場合がありますが、その場合は実機に従うものとします。また、本書の内容は、製品の改良などのため、将来予告なく変更することがあります。

■ 免責事項について

- 取扱説明書に従わなかったために生じた故障、事故などに対して、当社はその責任を負いかねます。
- 設置場所、設置方法の不備による落下などの事故に対しては、当社はその責任を負いかねます。

■ 電波に関する留意点について

- 本装置は技術基準適合証明の認証を受けたものです。本装置を改造するとその効力を失います。技術基準適合証明の番号などは、無線装置本体の銘板を参照してください。

■ ARIB 標準規格について

- 本装置は、社団法人電波産業会の標準規格に準拠しています。

お願い

ご使用前に**充電器・電池パック・乾電池ケースの「安全上のご注意」**を必ずお読みください。

特徴

■ 充実した通話エリア

- MCA 通信、公衆網 (MVNO*) 通信の両方で通話ができます。いずれかの通信が圏外となっても通話ができます。

■ わかりやすい音声ガイダンス・表示・操作

- 音声ガイダンスにより操作のアシストをします。
- 本体 LED により目視で通信状態を確認できます。
- ロータリースイッチによる音量操作・スクロール操作ができます。手袋を装着しても簡単に操作できます。

■ 高い堅牢性

- IP67 の基準を満たしています。雨天の野外や砂塵・粉塵が舞う工場などでも利用が可能です。
- 筐体は、衝撃性能の高いポリカーボネート樹脂と実用金属で最も比重の低いマグネシウムダイカストでできており、耐衝撃性を有しています。

■ 乾電池対応

- アルカリ電池 (単 3 形) を乾電池ケース (オプション品) に装着することにより非常時に使用することができます。

■ 長時間使用可能

- リチウムイオン電池の採用と省電力モードの活用で、長時間の使用を実現しています。

■ 簡単操作

- 接続先を簡単に表示する局番号帳メモリー機能を装備しています。
- 漢字名称を選択して、相手局の呼び出しが行えます。
- 接続モード (全グループ、グループ、個別) の切り替えをワンタッチで行えます。

■ 漢字表示

- かな漢字変換で、自由文メッセージの入力に漢字が使えます。
- 漢字メッセージの送信および受信が行えます。

* MVNO : 仮想移動体通信事業者

(Mobile Virtual Network Operator)
サービス加入が別途必要です。

目次

はじめに.....	2	アフターサービスについて.....	33
特徴.....	3		
目次.....	4		
安全上のご注意.....	5		
正しくご使用いただくために.....	9		
機器構成.....	13		
各部の説明.....	14		
電池パックの取り外し・充電.....	18		
アンテナ/ストラップの取り付け.....	20		
ソフトケース/ショルダーベルトの取り付け.....	21		
電源を入れる.....	22		
通信モードを切り替えて発信する.....	23		
警告表示.....	26		
障害表示.....	27		
メッセージ一覧.....	28		
保守.....	29		
故障と思われる前に.....	30		
仕様.....	32		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

安全上のご注意

必ずお守りください

危険



- 専用充電器を使用してください
発熱・発火・破裂の原因になります。

警告



- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、電源を切る
電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 病院内や医療機器のある場所では電源を切る（手術室、集中治療室、CCU※1等には持ち込まない）
本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- 心臓ペースメーカー装着部位から 15 cm 以上離す
電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 航空機内では電源を切る
運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

※1 CCUとは、冠動脈疾患監視病室の略称です。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告



禁止

■自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■車を運転しながら操作しない
交通事故の原因になります。
・運転者が操作するときは、車を安全な場所にとめてからご使用ください。





分解禁止

■分解・改造をしない
火災や感電の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

注意

 禁止	■電子レンジなどの加熱調理機器に入れない 火災・やけど・けがなどの原因になります。
	■幼児の手の届くところに置かない けがなどの原因になることがあります。
	■指定以外の装置を接続しない けがなどの原因になることがあります。
	■長時間直接接触して使用しない 本機や AC 充電器の温度の高い部分に長時間直接接触していると、低温やけど※2の原因になります。
	■アンテナを取り付けて使用する アンテナコネクタがむき出しになり、けがなどの原因になることがあります。

※2 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

正しくご使用いただくために

■ 無線保守・管理についてのお願い

年に1回は、無線装置の電源を OFF → ON して、MCA 圏内表示を確認してください。この操作により、無線装置の周波数を最良の状態にする自動調整機能が働き正常にご利用いただけます。操作を実施されない場合、部品の特性上、無線装置が使用不可となることがあります。

故障の原因になることがありますので、必ずお守りください

- ・テレビ、ラジオ、電話機など、電子機器のそばでのご使用は避けてください。雑音が入ることがあります。
- ・高精度部品を使用しておりますので、乱暴な取り扱いや落下など、強い衝撃を与えないようにしてください。
- ・本体の清掃には、シンナー・ベンジン・接点スプレー・洗剤などは使用しないでください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意点に従ってください。
- ・アンテナの先端をつかんで持ち歩かないでください。
- ・真夏の直射日光の当たる場所や、車のダッシュボードの上など、極端に高温になる場所には、長時間置いたままにしないでください。

ご使用にあたってのお願い事項

- ・使用中、本体は温かくなりますが、異常ではありません。
- ・極端な高温・低温の環境下での利用は避けてください。故障の原因になります。
推奨使用環境：温度 0℃～ +50℃
- ・サービス地域内でも通話中、下記の場所に移動したときは通話が途切れることがあります。
電波の届かない場所（トンネル内など）
電波の弱い場所（ビル陰など）

正しくご使用いただくために

防水性能について

- ・本装置は、電池パック、アンテナを取り付けた状態で、IPX7 の防水性能を有しております。

IPX7 とは、常温で水道水、かつ水深 1 m の静水に本装置を静かに沈め、30 分間放置後に取り出した場合に、製品としての機能を有すること。

※耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。

具体的には

- ・雨の中で傘をささずに通話できます。
(1 時間の雨量が 20 mm 程度)

防塵性能について

- ・本装置は、電池パック、アンテナを取り付けた状態で、IP6X の防塵性能を有しております。
IP6X とは、75 μm 以上*の粉塵が中に入らない構造を有すること。*100 μm =0.01 cm

具体的には

- ・砂塵・粉塵が舞う工場などでもご利用いただけます。
ただし、鉄粉等はスピーカー部に付着させないでください。

ご使用にあたっての重要事項

- ・水中で本装置を使用しないでください。
- ・防水性能の保証期間は、お買い上げ日から 1 年間です。
- ・防水性能を維持するために、1 年に一度は、防水パッキンを交換することをお勧めします。防水パッキンの交換については、サービス窓口にご相談ください。(有料)
- ・SIM カバー部は、設置業者以外は触らないでください。

正しくご使用いただくために

お願い事項

- 水滴が付着したまま放置しないでください。
寒冷地では凍結し、故障の原因になります。
- 海水、せっけん、洗剤、砂、泥が付着した場合は、洗面器などにためた 40 °C 以下の水道水で軽くゆすりながら洗い流してください。
- 蛇口やシャワーから直接水流を当てると、水流で泥や砂がキー、スイッチ、マイク、スピーカーなどに入るおそれがあり、不具合の原因になります。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 電源部に水滴が付着した際は、乾いた布でふき取ってください。
- 熱湯、サウナ、温風（ドライヤーなど）は使用しないでください。
- 本装置に水、雪が付いた場合、ふき取れなかった水があとから漏れて、衣服や鞆をぬらす場合がありますので乾いた布でふき取ってください。
- ぬれている状態で充電しないでください。
- マイク、スピーカーなどを尖ったものでつつかないでください。

- 電池端子がショートするおそれがありますので、ぬれたまま放置しないでください。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合は、保証の対象外となります。

水にぬれたときの水抜きについて

本装置を水にぬらした場合、ふき取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、下記の手順で水抜きを行います。

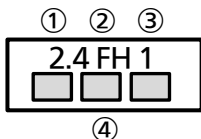
- ①本装置表面の水分を乾いた布などでよくふき取ります。
- ②本装置をしっかりと持ち、約 20 回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。両面とも同じように振ります。
本体を振り飛ばさないようにしっかり握って行ってください。
- ③水をふき取ったあとでも本体内部には水分が残っていることがあります。
ぬれて困るもののそばには、置かないでください。


正しくご使用いただくために

Bluetooth 機能について

・周波数帯について

本装置の Bluetooth 機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400 MHz 帯を使用する無線設備を表します。
- ② FH : 変調方式が FH-SS 方式であることを示します。
- ③ 1 : 想定される与干渉距離が 10 m 以下であることを示します。
- ④  : 2402 MHz~2480 MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

Bluetooth 機器 使用上の注意事項

・本装置の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

- ①本装置を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- ②万が一、本装置と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
- ③その他、ご不明な点につきましては、お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社へお問い合わせください。

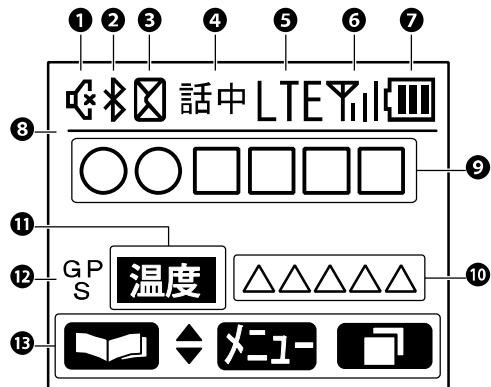
機器構成

	品名	品番	数量	備考
標準構成	携帯型無線装置	EK-6180A	1	無線装置本体
	ストラップ	—	1	
	取扱説明書	—	1	本書
	保証書	—	1	本書に含む
	アンテナ	—	1	
オプション	電池パック	EK-P50313A		専用リチウムイオン電池
	乾電池ケース	EK-P55008A		LR6×7 本使用
	AC 充電器	EK-P55010A		EK-P50314A 相当品
	ソフトケース	EK-B55011A		

- 電話モードを使用するには、管理移動局／指令局にオプション品が必要です。
- 乾電池ケースは、EK-6175A にはご使用できません。

各部の説明

1. ディスプレイ表示部



①スピーカー／ミュートマーク

- 🔊 : 無線機モード時 点灯
- 📞 : 電話機モード時単信通信中 点灯
- 🔇 : ミュート設定時 点灯

②Bluetooth

- M₁ : マイク 1 接続済 点灯
- M₂ : マイク 2 接続済 点灯
- 📶 : Bluetooth ON 点灯
- 📶 : Bluetooth OFF 消灯

③ユーザー表示／メール表示

- 主 : メインユーザー 点灯
(複数ユーザー待ち受け時に有効)
- 副 : サブユーザー 点灯
(複数ユーザー待ち受け時に有効)
- D : データ着信中 点灯
- ✉ : メール着信時 点灯 (✉は満杯)

④無線回線状態


- 話中 : 通話不可時 点灯
(他局送信時、回線混雑時および発信規制中 他)
- 送信 : 無線送信中 点灯
- 通話 : 通話可能時 点灯
- 制限 : 単一无線ゾーン時 点灯
- グ× : 管外ゾーン在圏時 点灯
- 予約 : 予約時 点灯
- モニタ : 緊急モニタ受信時 点灯

⑤LTE 圏外／圏内表示

- LTE : LTE 圏内時 点灯
- LTE : LTE 圏外時 消灯




各部の説明

⑥ MCA 圏外／圏内表示（受信電界表示）

 : 受信電波の強度を表示（本数が多いほど強い）
MCA 圏内時点灯、MCA 圏外時消灯

※⑤⑥ともに圏外の場合は「圏外」点灯

⑦ 電池／エコマーク

 : 現在の電池残量を表示
（本数が多いほど残量が多い）
 : 乾電池使用時（残量は表示しません）
 : エコモード時
（本数が多いほど残量が多い）

⑧ 受話音声表示

線表示あり : IP 経由音声再生時
線表示なし : MCA 経由音声再生時

⑨ 相手局表示

発信する相手局名称や、相手局の発信モード・個別番号・グループ番号を表示

⑩ 通信制限表示

通話制限時間を表示（通信中はダウンカウント）
設定により、状態・在圏ゾーンなどに表示変更が可能



⑪ 温度警告／緊急表示／通信モード

温度 : 無線装置本体の温度上昇警告時 点灯
緊急 : 緊急状態時 点灯
解除 : 緊急解除状態（緊急通報未実施）時
点灯






発信する通信モードを表示

全グ : 全グループモード時
グル : グループモード時
個別 : 個別モード時
電話 : 電話モード時
一斉 : 全グループ一斉モード時

⑫ GPS マーク

 : GPS 捕捉 OK
 : GPS 捕捉 NG

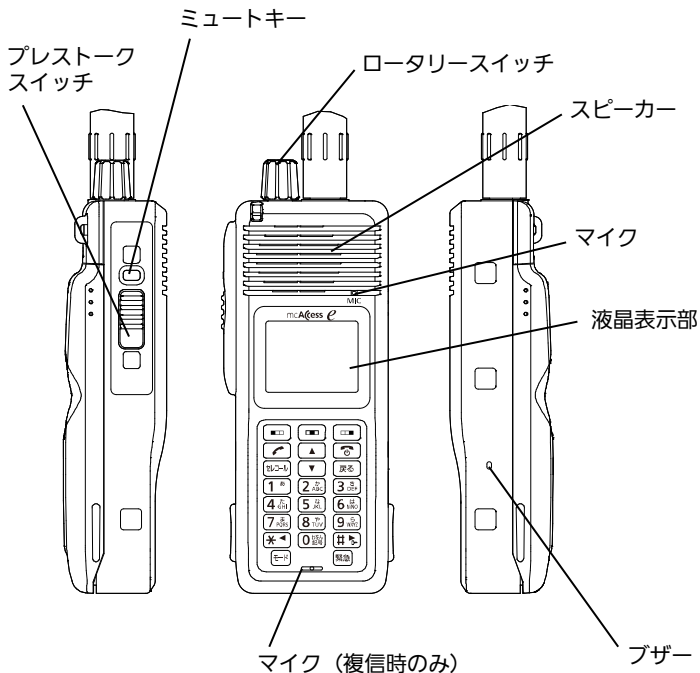
⑬ ガイドキー表示

     キーを押したときの操作
内容を表示

（画面ごとに内容が異なるので、詳細は操作方法で説明）

各部の説明

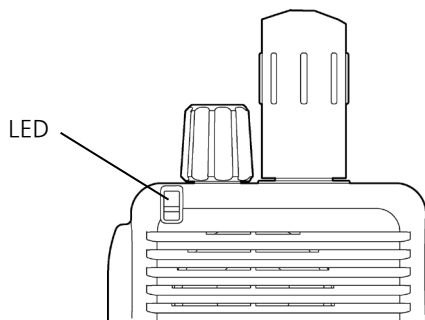
2. 操作部



No.	ボタン名称	主な機能
1		画面左下に表示されるガイドキーの操作 (局番号帳、クリア、他)
2		画面中央に表示されるガイドキーの操作 (メニュー、文字確定、他)
3		画面右下に表示されるガイドキーの操作 (履歴、切替、他)
4		待ち受け時：登録内容の検索 通話時：受話音量の調節
5		電源の ON/OFF (長押し)、通話終了
6		発呼
7		元画面への移行
8		セレコール (取消含む) の送信
9		通信モード (全グループ/グループ/個別 /全グループ一斉/電話) の切替
10		番号/文字の入力
11		*入力、カーソル移動 (左)
12		#入力、カーソル移動 (右)、キーロック設 定 (長押し)
13	ミュート	ミュート設定/解除 (長押し)
14	プレトーク スイッチ	発呼および (プレトーク通信時) 音声送信
15	ロータリー スイッチ	待ち受け時：登録内容の検索 通話時：受話音量の調節
16		指令局への緊急通報実施、 緊急解除 (長押し)

各部の説明

3. LED 表示部



No.	表示	端末の状態
1	緑点灯	送話中
2	緑点滅	セレコール・不在着信未確認
3	赤点灯	話中、圏外
4	赤点滅	話中（ミュート状態）
5	橙点灯	予約中
6	橙点滅	Bluetooth マイク検索中、保守中
7	赤高速点滅	障害発生時

ポイント

- プレストークスイッチは、グループ通信などの片方向
ずつ通話を行う単信通信時に使用します。
通話を行う場合は、スイッチを押しながら話し、聞く場
合はスイッチを離しておくと言声が聞けます。
（プレトーク通信）
- 緊急機能を使用するには、別途サービス加入またはアプ
リケーションが必要です。

電池パックの取り外し・充電

無線装置をご使用になる前に、以下の内容を確認してください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

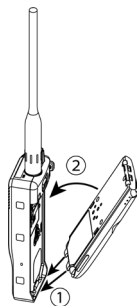
専用の電池パック（オプション）を使用してください。

■ 取り付けかた

①電池パック下部の爪を図のように取り付けてください。

本体の下部に差し込みます。

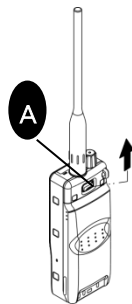
②カチッと音がするまで電池パックを押し込みます。



■ 取り外しかた

電池パックを外すときは、無線装置の電源を「OFF」にしてから行ってください。

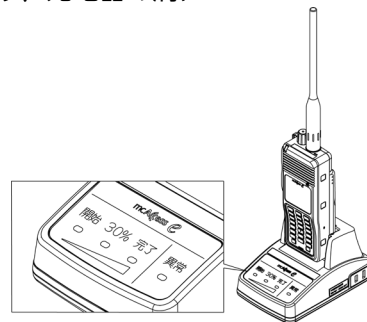
Aの部分を実印方向にスライドさせて、無線装置本体から電池パックを外します。



充電のしかた

充電は、次の3とおりの方法で行えます。（オプション）

■ 電池パックを無線装置本体に取り付けているとき
無線装置本体を正面に向け、充電器の溝に合わせて差し込みます。



■ ソフトケースに無線装置を入れているとき
ソフトケースを装着したまま、無線装置本体を正面に向け、充電器の溝に合わせて差し込みます。

電池パックの取り外し・充電

■ 電池パック単体で充電するとき
電池パックの注意ラベルの面を正面に向け、
充電器の溝に合わせて差し込みます。



開始ランプが緑色に点灯して、確実に装着していることを確認してください。充電が完了すると、完了ランプが緑色に点灯します。

専用の電池パック（オプション）を使用してください。

警告



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不十分ですと、感電や発熱による火災
の原因になります。

- ・痛んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

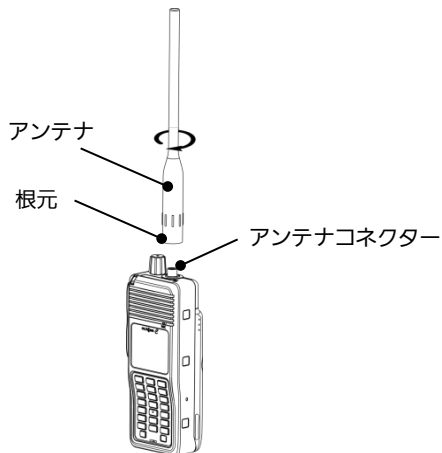
お願い

- ・専用の AC 充電器以外の電気器具を接続しないでください。
- ・充電器を 7 台まで増結して（増結後の合計台数は 8 台まで）、同時に充電することができます。
- ・増結した充電器の AC100 V 入力端子に、無理な力が加わらないようにしてください。
- ・電源は、必ず家庭用 AC100 V を使用してください。
- ・周囲温度 5 °C ~ 35 °C の範囲内で充電を行ってください。
- ・この温度の範囲外や、電池パックが熱くなった状態で充電すると、充電を中断したり、充電時間が長くなることがあります。
- ・充電中に電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- ・本充電器は、過充電防止のために、充電開始から約 4 時間で動作を停止します。
- ・長時間使用にならないときは、無線装置本体の電源を切り、必ず充電器の電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。充電していないときも、約 2 W の電力を消費しています。

アンテナ/ストラップの取り付け

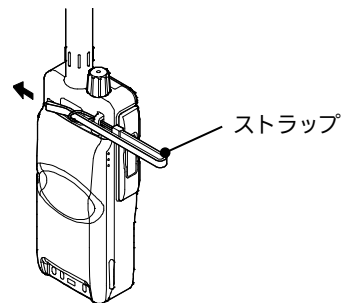
■ アンテナの取り付けかた

アンテナを図のように、根元までしっかり取り付けてください。



■ ストラップの取り付けかた

ストラップを取り付ける場合は、図のように取り付けてください。



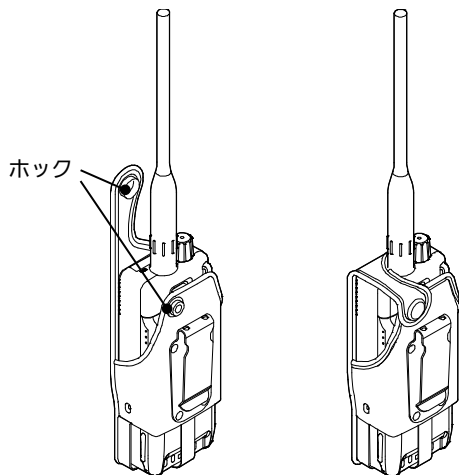
お願い

アンテナの取り付け／取り外しの際は、根元を持って行ってください。また、アンテナを握って使用しないでください。アンテナを持ったまま運ばないでください。アンテナが破損する場合があります。

ソフトケース/ショルダーベルトの取り付け

■ ソフトケースへの入れかた

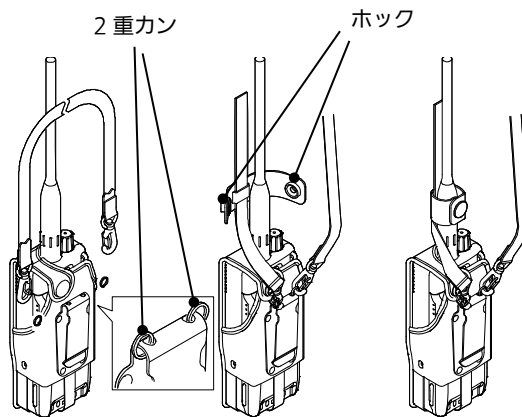
無線装置本体をソフトケースの奥まで確実にに入れて、図のようにフックでとめてください。



■ ショルダーベルトの取り付けかた


次のように取り付けてください。

- ①ショルダーベルトに付属している2重カンを外して、ベルトクリップに取り付けます。
2重カンの取り付けの際は、ラジオペンチ等の工具で取り付けてください。
- ②ショルダーベルトのフックを2重カンに取り付けます。
- ③無線装置のアンテナ部分をショルダーベルトのフックで留めます。

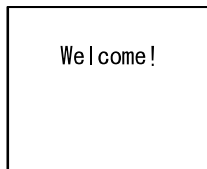


電源を入れる

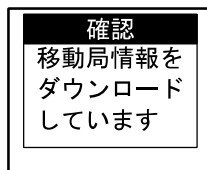
無線装置を起動します。

1  キーを長押しする
約 2 秒間押してください。

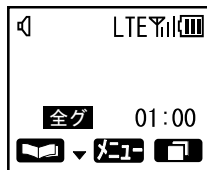
2 無線装置の画面が点灯する




3 移動局情報が登録される
右記画面が表示され、移動局情報がダウンロードされます。
前回起動時から移動局情報に変更がない場合は、本画面は表示されません。



4 使用可能な状態になる
初期状態の待ち受け画面が表示されます。電池残量や電波の状態を確認してください。LTE の捕捉には時間がかかります。



ポイント

- 電源を切るときは、再度  キーを長押ししてください。「See you!」というメッセージを表示し、電源が切れます。
- 電池パックを交換する際は、いったん電源を切ってから交換してください。
- 乾電池ケースを使用した場合には、エコモードで起動します。
- 電源を切る前にキーロックを設定していた場合は、電源を再度入れたときもキーロックの設定が継続されます。
- 待ち受け画面には、通信モード、発信先番号または名称、設定によって通信時限、在圏ゾーン、自局状態などが表示されます。
その他、無線機モードを示すスピーカマークや本体の温度上昇を警告する温度マークが表示される場合があります。
- MCA 中継局設備に障害の場合は、画面に「制限」と表示されることがあります。
- 画面に「グ×」と表示された場合は、個別通信しか行えません。

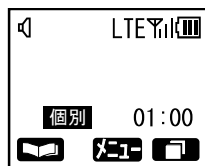
通信モードを切り替えて発信する

発信したい通信モードに切り替えて、通信を開始します。

1 キーを押す

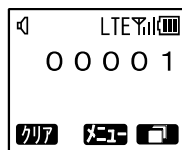
キーを押すごとに、通信モードが順次切り替わります。


全グループ→グループ→個別→電話→全グループ→斉→…（システム定数で内容の変更可）
発信したいモードを選択してください。



2 相手先番号を入力する

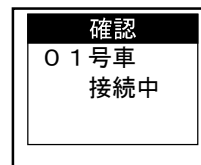
通信モードがグループまたは個別の場合は、テンキーを押して発信先の個別番号を入力してください。



キー（クリア）を押すと、入力中の番号の最後の数字が消去されます。さらに押し続けると、入力中の番号のすべての数字が消去されます。

3 プレストークスイッチを押す

表示中の番号に対して発呼します。



4 通信を開始する

通信接続が成功すると、「ピッピ」という音が鳴り、「通話」が表示されます。



画面に通話残時間が表示され、通話が可能な状態になります。

ポイント

- 予め登録されている相手先に発信するときには、番号を入力せずに待ち受け画面から局番号帳を利用して相手先番号を選択することもできます。

通信モードを切り替えて発信する

5 通話を行う

プレストークスイッチを押しながらお話ししてください。

「ピッ」という通話指示音が鳴り、「送信」が表示されたら、送話することができます。



6 通話を聞く


プレストークスイッチを離してください。

相手が送話を始めると、「話中」が表示され、相手の音声がかかります。

相手局の送話が終了すると、「通話」が再度表示されます。



7 通話を終了する

 キーを押してください。通信接続を終了し、画面は待ち受け画面に戻ります。




ポイント

- 通話キーで発呼した場合にも、プレストークスイッチを押しながらお話しください。
- 通信開始後に通話を行おうとした際に、送信権の獲得に失敗すると「プップッ」という失敗音が鳴ります。その場合は、「話中」が表示されていないかどうかを確認後、再度プレストークスイッチを押してください。
- 単信通信時は、誰も通話を行わない状態が5秒間継続すると、自動的に通信が終了します。
- 通話制限時間が経過すると、通信が終了になります。制限時間の約10秒前に「ピッ」という終話予告音が鳴り、その後「プー」という終話音と共に通信が終了します。
- 発着信を連続で行い、送信動作状態が長く継続すると、無線装置の温度が上昇します。このような運用をする、電池の消耗が激しくなります。
- 温度上昇や電池残量不足で運用に支障が発生するおそれがあると、警告音が鳴り、画面にメッセージが表示されます。詳細は、「警告表示」(26ページ)を参照してください。

通信モードを切り替えて発信する

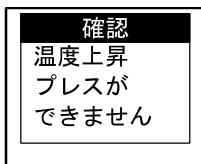
ポイント

- 無線装置の温度が上昇すると、発信ができなくなります。その場合には、無線装置の電源を切ってから電池パックを外し、涼しい場所に置いてください。
- 受話時に予想外に大きな音が出る場合がありますので、スピーカーから耳を離すなど、十分にご注意ください。
- 「電話機モード」で動作中の場合、単信通信中はプレスを促す  マークが表示されます。

警告表示

電池残量や本体の温度に関する警告メッセージが表示されます。

- 1 「ピポパポピポパポ」または「ピー」という警告音が鳴り、警告内容が表示される画面に警告メッセージが表示されます。



ポイント

- 警告メッセージに関する詳細は、「メッセージ一覧」(28 ページ) を参照してください。
- メッセージの表示は、基本的に状況が改善されるまで継続します。(操作時は一時的に消去される場合があります)
- 電池残量がなくなった場合、電源が強制的に切れます。その際は、充電を行ってください。
- 無線装置本体の温度が上昇し過ぎた場合、その後の発着信ができなくなります。通信が複信または半複信時の送話中にこの状態に達すると、通信が強制的に中断されます。(それ以外の場合は、送話終了後にメッセージが表示され、発着信が制限されます)

障害表示

無線装置に障害が発生した場合、その内容が表示されます。

- 1** 「ピー（5 秒）」という障害発生音が鳴り、障害内容が表示される画面に障害の理由を示すメッセージが表示されます。



ポイント

- 障害メッセージに関する詳細は、「メッセージ一覧」（28 ページ）を参照してください。
- 障害メッセージが表示されると、それ以降の運用が行えなくなります。障害番号と内容をご確認後、必要な処置を実施して、再度電源を入れてください。

メッセージ一覧

無線装置で表示される障害・警告メッセージは以下のとおりです。

メッセージ内容	説明
機体番号NG	移動局機体番号が未実装
移動局情報を抹消しました	移動局情報が廃止されたとき
サービスを停止しました	移動局情報が全ユーザーで停止したとき
機体が未登録です	移動局機体番号が未登録
移動局情報取得失敗	移動局情報の取得に失敗したとき
注意 ユーザ情報を更新しました	ユーザー情報が自動更新されたとき
注意 ユーザ切替をして下さい	ユーザー情報が切り替えられた警告表示
本体温度が上昇しています	無線装置の温度上昇を検出したときの警告表示

メッセージ内容	説明
温度上昇 プレスができません	無線装置が高温になったときの警告表示
電池残量なし 充電してください	電池残量がなくなったときの警告表示 ※このあと電源が自動的にオフになります。

保守

保守・手入れは、無線装置の性能、寿命を左右します。使用前には、点検を行い、無線装置の状態を毎日確認するようにしてください。

日常の保守

- 本体が汚れたときは、乾いた布や綿棒でふいてください。シンナー・ベンジン・接点スプレー・洗剤などでふくと、本体の変形・変色・割れの原因になります。
- 雨にぬれたあとは、水滴をふき取ってください。
- アンテナ、電池パックなどは、確実に接続されているかを確認してください。
- 十分に充電した電池パックを装着して、プレストークスイッチやキーを押しても操作ができない場合は、異常が発生しておりますので、一度電源を「OFF」にしたあと、再度電源を「ON」にしてください。このような状態が頻繁に起こる場合は、販売店にご連絡ください。
- 充電器の端子、電池パックの端子が汚れたときは、乾いた布や綿棒でふいてください。

定期保守

- 年に1回は、無線装置の電源をOFF → ONして、MCA 圏内表示を確認してください。この操作により、無線装置の周波数を最良の状態にする自動調整機能が働き正常にご利用いただけます。操作を実施されない場合、部品の特性上、無線装置が使用不可となることがあります。
- 年に1回は、販売店での定期点検をお勧めします。当社では、販売店にて点検などのご依頼をお受けしております。また、無線装置の性能測定、各部品の異常点検および交換も行っております。

修理を依頼される前に

- 「故障と思われる前に」（30 ページ）の表に従って、ご確認されても直らない際は、すぐに電源を切り、電池パックを取り外して、販売店にご連絡ください。

故障

- 本装置は、厳重な品質管理のもとに製造されておりますが、万一故障が発生した際は、すぐに電源を切り、電池パックを取り外して、販売店にご連絡ください。

故障と思われる前に

無線装置のご使用の際に何らかの支障が発生した場合は、以下の内容をご確認ください。

こんなときは	ここを確認してください
操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチは入っていますか？ 電池パックの電池残量が少なくなっていますか？ 電池パックが外れていませんか？ 本体温度が動作範囲外ではありませんか？
圏内にならない	<ul style="list-style-type: none"> アンテナは確実に接続されていますか？ 現在いる場所はサービスエリア内ですか？ サービス圏内であってもトンネル内やビルの谷間など、つながりにくい場所ではありませんか？
音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> 受話音量が最小レベルになっていませんか？ ミュート設定していませんか？
スピーカーマイクから音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> 受話音量が最小レベルになっていませんか？ ミュート設定していませんか？ スピーカーマイクは自動接続していますか？
音が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> 受信電波が弱い地域では、音が途切れることがあります。
受信音声割れる	<ul style="list-style-type: none"> 受話音量を切り替えて、聞きやすい音量に調整してください。
受信音声歪む	<ul style="list-style-type: none"> 発信側で、無線装置を口に近づけ過ぎて使用していませんか？

こんなときは	ここを確認してください
受話音量が小さい	<ul style="list-style-type: none"> 受話音量を切り替えて、聞きやすい音量に調整してください。 発信側で、無線装置を口から離して使用していませんか？
発信ができない	<ul style="list-style-type: none"> キーロックされていませんか？ 無線装置の温度が上昇し過ぎていませんか？ 圏内ですか？
スピーカーマイクから発信できない	<ul style="list-style-type: none"> 圏内ですか？ スピーカーマイクは自動接続していますか？
通話が中断された	<ul style="list-style-type: none"> 制御時間を超えて通話をしていませんか？ 無線装置の温度が上昇し過ぎていませんか？
ミュートが解除される	<ul style="list-style-type: none"> プレストークスイッチを押しましたか？ プレストークスイッチを押すと、ミュートは解除されます。再度、ミュートにしたい場合は、再設定してください。
充電ができない (充電ランプが点灯しない)	<ul style="list-style-type: none"> 充電器または電池パックの端子部が汚れていませんか？ 充電温度 (5℃～35℃) の範囲内で充電してください。

故障と思われる前に

こんなときは	ここを確認してください
その他 (障害発生)	<ul style="list-style-type: none">• 画面上に障害番号が表示されるので、その内容を確認後、再度電源を入れてください。• 何度繰り返しても同様の状況であれば、使用をいったん中止してください。• 販売店にご相談ください。

ポイント

上記に関連する内容として、「正しくご使用いただくために」(9 ページ)を参照してください。

仕様

外形寸法	約 58 (W)mm ×約 35 (D)mm ×約 149 (H)mm (つまみなどの突起物は除く)
質量	約 360 g (本体と電池パックを含む。アンテナは含まない。)
MCA 無線	
変調方式	$\pi/4$ シフト QPSK
通信方式	2波半複信 / 2波複信方式
接続方式	時分割多元接続方式 (TDMA)
伝送速度	32 kbps
基本フレーム長	40 ms (4 多重)
送信出力	2 W
IP 無線	
周波数	FDD-LTE (1,19,21)
送信出力	FDD-LTE 規格に準ずる

保証とアフターサービスについて

保証とアフターサービスについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社へお問い合わせください。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** パナは ヨイワ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/it/cs/cntctus/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

〒224-8539 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町600番地

© Panasonic System Solutions Japan Co., Ltd. 2018

PYQX1108ZA/J1

A1218-0

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無償修理をご依頼にならない場合には、保証書表面の連絡先にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (ニ) 本製品以外の故障(例えばアンテナ、ケーブル、電源の故障等)に誘発された故障及び損傷
 - (ホ) 本書のご添付がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (ト) 持込修理の対象商品を直接お買い上げの販売店へ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。また、出張修理を行った場合には、出張料はおお客様の負担となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ


- ※ お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

mcAccess e

持込修理

無線機器 保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	EK-6180A
保証期間	お買い上げ日から 本体 1 年間
※お買い上げ日	年 月 日
※ お客様	ご住所 _____ お名前 _____ 電 話 () _____ 様
※ 販売店	住所・販売店名  Radio Communication Solutions 株式会社 ジャパンエニックス JAPAN ENIX CO.,LTD. <input type="checkbox"/> 本社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351 <input type="checkbox"/> 関西支店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700 <input type="checkbox"/> 札幌営業所 <input type="checkbox"/> 名古屋営業所 <input type="checkbox"/> 仙台営業所 <input type="checkbox"/> 九州営業所 https://www.jenix.co.jp/ <small>営業所住所はこちら▶</small>  電 話 () _____

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地
TEL:0120-878-410

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。